

龍谷大学図書館長 殿

所属・職名 経済学部教授
氏名 竹内 真彦2019年度 大型図書 研究成果（経過）報告書

このことについて、下記のとおり報告いたします。

<p>購入資料名</p> <p>静嘉堂文庫所蔵 宋元版（マイクロフィルム版）</p> <p>ユニット2&ユニット3</p>	<p>採択年度</p> <p>2019年度</p>
<p>1. 研究の概要について</p> <p>①中国正史『後漢書』及び『三国志』に現れる人物の形象が、正史を起点としてどのように変化していったかを記述する。</p> <p>②正史の刊行史において、その出版をとりまく状況を、特に目録（目次）の継承という視点から記述する。</p>	
<p>2. 購入資料の活用状況（活用予定を含む）について記入してください。</p> <p>購入資料は、研究①の基礎資料たる『後漢書』と『国志』（『三国志』）の宋版を含む。正史のテキストとして静嘉堂文庫蔵本は極めて信頼性が高く、殿本等との校勘を基礎作業としつつ、研究中、正史の記述に言及する際は購入資料に依拠して述べることとなる。</p> <p>また、購入資料には『史記』、『漢書』3種、『後漢書』3種、『呉書』、『国志』、『晋書』、『宋書』、『南齊書』、『梁書』、『陳書』、『魏書』、『北齊書』という16種の正史版本が含まれる。これらの画像は現存する正史の版本画像としては早期のものであり、その後に刊行された正史版本が如何なる演変を遂げていったかを確認するための原拠となる。</p>	

3. 研究発表状況（予定を含む）について記入してください。

【雑誌論文】

竹内真彦「『正史』目録の演変（1）」（『龍谷紀要』第44巻第2号、2023年3月発行予定）

【図 書】

竹内真彦『最強の男 三国志を知るために』（春風社、2020年）

☆資料購入後、**1年以内**に**研究経過報告書**を提出し、また、**3年以内**に**研究成果報告書**を提出してください。
加えて著書または学術雑誌等により**研究成果の公表または学会発表**をしてください。
☆公表の際には、参考文献として刊行物に明記してください。

